

※ 今週のアウトルック(4/3~4/7)

先週はドル円は130円付近からのリバウンド、ユーロ円、ポンド円などはリバウンドから金曜日にはレジスタンスが越えられず、早くも調整の気配が出てきています。

今週はまず、このままドル円が135円以上まで上昇できるかどうか注目されますが週末に米国雇用時統計を控え、それまでは狭いレンジ内での動きとなる可能性が高いかもしれません

先週のドル円は、130円付近を起点として132円台まで上昇したものの、その後は足踏み状態が続いています。

今週も週末に米国雇用統計の発表を控え、前半は様子見状態となる可能性が高いように思います。

雇用統計の結果が予想よりも良いもの、あるいは悪いものであっても、結果によりドル買いになるのか、それともドル売りになるのかを判断することは少し難しいかもしれません。

ドル円の予想レンジは127円から138円です。

先週のユーロ円は、140円付近からのリバウンドで145円超えまで上昇したものの、ユーロドルが1.1付近のレジスタンスを超えられず、早くも調整入りの様相を呈しているようです。

今週は、142円付近まで一度調整する可能性もありそうですが、米国雇用統計発表後の動きは予想しづらいものとなりそうです。

ユーロ円の予想レンジは138円から147円です。

ポンド円も上昇トレンドにはあるものの、166円付近のレジスタンスに阻まれている状況です。一度160円付近まで調整する可能性も考慮する必要はありそうです。

ポンド円の予想レンジは158円から167円です。

米国の雇用状況が改善した場合でも、銀行の破綻などに対する懸念事項は払拭しきれていない為、今後の動きに対する予測は難しい状況は続きそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。